

富山大学薬学部学生後援会

2020年度(第23回)総会報告書(抄)

(新型コロナ感染拡大に伴い開催中止となったため、理事による持ち回り審議を行った)

次 第:

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 学部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事
 - 5-1. 2019年度事業報告 (p. 2)
 - 5-2. 2019年度会計報告 (p. 10)
監査報告 (p. 13)
 - 5-3. 新役員選出 (p. 14)
 - 5-4. 2020年度事業予定(案)審議 (p. 15)
 - 5-5. 2020年度予算(案)審議 (p. 19)
6. その他
 - 6-1. 学部生, 大学院生の研究活動 (p. 22)
 - 6-2. 学生の保証人(親権者等)への成績通知について (p. 24)
7. 閉会

総会終了後、御質問・御要望などに関して自由討論

5. 議事

5-1. 2019 年度事業報告

5-1-1. 2019 年度(第 22 回)総会

2019 年 4 月 5 日(木)、入学式終了後午後 1 時 30 分より 2019 年度総会を看護学研究棟 1 階 10 番講義室において、会員・新会員(新入学生保護者)の他、薬学部教員も多数出席して行われました。会長小林昭彦様によるご挨拶を頂戴し、その後、酒井薬学部長より薬学部の現状(学生の出身地、アドミッションポリシー、薬学科および創薬科学科における講義の特色、薬剤師国家試験や就職状況など)に関する説明がありました。

その後、安力川武憲新副会長が議長に選出され、審議に入り、2018 年度の事業と決算が報告され承認されました。続いて 2019 年度の正会員理事 22 名、教職員理事 9 名(TOEIC 講習補佐を含む)、正会員監事 1 名、教職員監事 1 名が承認されました。

続いて事業計画と予算審議に入り、国家試験対策支援のスケジュール、TOEIC 講習会・TOEIC キャンパステストの企画・支援など 2019 年度の事業計画について各担当教職員理事より説明がありました。引き続き、国家試験及び TOEIC 講習補助を主目的とする課外教育援助は 340 万円、課外活動援助は 70 万円とするなど昨年度とほぼ同等の予算案が提案され、事業計画と合わせて承認されました。

総会終了後、希望者を対象に杉谷キャンパス内の施設見学会を実施しました。

5-1. 2019 年度事業報告(続き)

5-1-2. 課外教育援助① (国家試験対策)

結果

薬学部 6 年制導入後の第 9 期生が 2019 年度に最終学年を迎え、2020 年 2 月 22 日及び 23 日に新卒者 54 名、既卒者 13 名、及びその他(旧 4 年制卒業者・受験資格認定者)8 名が薬剤師国家試験を受験しました。先日 3 月 24 日に合格発表があり、以下は合格者数の速報値です(前々回全国合格率:70.58%, 前回全国合格率:70.91%, 今回全国合格率: 69.58%,)。

	富山大学	全国
新卒	51 名 合格(54 名 受験)94.44%	7,795 名 合格(9,194 名 受験)84.78%
既卒	9 名 合格(13 名 受験)69.23%	2,050 名 合格(4,804 名 受験)42.67%
その他	2 名 合格(8 名 受験) 25.00%	113 名 合格(313 名 受験)36.10%
計	62 名 合格(75 名 受験)82.67%	9,958 名 合格(14,311 名 受験)69.58%

対策

2019年度に学生後援会として、薬学科6年生(54名)および博士課程薬剤師コース4年生(3名)向けに行った国家試験受験対策は次の通りです。

- ・ 学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール: 講義(52コマ)13日間, 模擬試験(5回)8日間
- ・ メディセレスクール社: 模擬試験(1回)2日間

第 105 回薬剤師国家試験対策 講義・模試日程

【講習会・模擬試験】

今年度予定	内容(対策講義科目は昨年実績)	講義室
5月7日(火)	ガイダンス I(90 分程度) 13:00	セミナー室 8
5月18日(土)	スタートアップ模試(全員)	セミナー室 8
7月27、28日(土・日)	ステップアップ模試(全員)	セミナー室 8
9月26、27日(木・金)	全国統一模擬試験 I(全員)	セミナー室 8
11月5日(火)	ガイダンス II(90 分程度)13:00 追加講義案内	セミナー室 8
11月7日(木)	対策講義(衛生)	日医工ホール
11月12日(火)	対策講義(化学)	日医工ホール
11月14日(木)	対策講義(生物)	日医工ホール
11月19日(火)	対策講義(物理) 追加講義受付(集金)	日医工ホール
11月22日(金)	対策講義(治療) 振込用紙配布	日医工ホール
11月26日(火)	対策講義(薬剤)	日医工ホール
11月29日(金)	対策講義(薬理)	日医工ホール
12月3日(火)	対策講義(法規)	日医工ホール

12月6日(金)	対策講義(実務) 大学事務説明会	日医工ホール
12月12、13日(木・金)	全国統一模擬試験 II(全員)	日医工ホール
12月17日(火)	弱点克服講義(薬剤) (近畿日本ツーリストによる国試ツアー説明会)	日医工ホール
1月9、10日(木・金)	メディセレ全国統一模擬試験(全員)	日医工ホール
1月14日(火)	弱点克服講義(薬剤) (ツアー申込受付会)	日医工ホール
1月21日(火)	弱点克服講義(薬理)	日医工ホール
1月28日(火)	弱点克服講義(治療)	日医工ホール
1月30日、31日(木・金)	全国統一模擬試験 III(全員)	日医工ホール
2月22、23日(土・日)	第105回薬剤師国家試験	(北陸大学)

費用

・薬学ゼミナール(講義 52 コマおよび模擬試験 5 回を含む一式) :	2,649,020 円(税込)
・メディセレスクール(模擬試験 1 回) :	206,910 円(税込)
<u>総計</u>	<u>2,855,930 円(税込)</u>

国試対策の総額は 2,855.930 円で、57 名の受講者一人あたり約 50,104 円となりました。薬学部 6 年生に対しては、学生後援会より一人当たり 15,604 円を支援し、各受講者から 34,500 円(/1 名)を集金しました。博士後期課程 3 名は学生後援会からは援助なしのため、50,104 円(/1 名)を集金しました。これに加え、各受講者は講義用テキストを別途購入いたしました。

その他

- ・本年度は講義 52 コマ終了後、薬学ゼミナール担当者と協議のうえ、希望学生を対象に 2 月 4、5、6 日に追加特別講義を本学において実施しました(追加講義受講料 10,000 円)。57 名中 55 名が出席しました。
- ・2 月 22、23 日に北陸大学太陽が丘キャンパスで行われた国家試験では、学生全員が近畿日本ツーリストによるツアー(2 泊 3 日)に参加し、金沢駅近くのホテルに宿泊して受験しました(旅行代金は一人当たり約 30,000 円)。なお、薬学ゼミナールによる追加特別講義、及びツアーに関しては、学生後援会は直接関与していません。

5-1. 2019 年度事業報告(続き)

5-1-3. 課外教育援助② (TOEIC 支援)

概要: TOEIC(国際コミュニケーション英語能力テスト)は英語によるコミュニケーション能力を検定する試験であり、大学院入試等に用いられる他、企業が採用の際に参考にする場合がある。学生後援会では、主に創薬科学科に対する支援としてTOEIC講習会、学内IPテストを企画している。

活動報告(2019年度)

1) TOEIC講習会(2019年11月2日(土))

- ・外部講師(2講師, イーオン社)にTOEIC対策講義を依頼し、入門&スコアアップコースの2クラス制で実施した。
- ・創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援した。1クラス分の講師代と添削費は、学部長裁量経費から支出した。

実施状況: 参加者23名。

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| (1) 入門コース: 19名 | 創薬科学科2年2名/3年17名/4年0名 |
| (2) スコアアップコース: 4名 | 創薬科学科2年0名/3年2名/4年1名
薬学科3年1名 |

(支援対象21名, 支援対象外2名)

経費:

- 1) 学生後援会による支援(合計210,140円)
- 2) 薬学部による支援(合計120,920円)
- 3) 支援対象外参加者の参加費等(合計10,000円(収入))

まとめ

1),3)より、学生後援会から合計200,140円(210,140-10,000円)を支援した。

2) TOEIC-IPテスト (2020年1月11日(土)実施)

- ・大学生協主催で行われている。
- ・創薬科学科学生に対して、一人1回分(3,455円)のみ支援している。

経費:

学生後援会による支援(創薬科学科2年: 2名, 3年: 33名)
120,925円

まとめ

学生後援会から、120,925円を支援した。

5-1. 2019 年度事業報告(続き)

5-1-4. 課外教育援助③ (卒論発表会支援)

2020年2月14日(金)に、2019年度薬学部卒業研究発表会が本学杉谷キャンパス講義棟で行われました。創薬科学科生は1年間にわたる卒業研究の成果を、薬学科生は中間発表として実務実習(事前学習)および共用試験の中断を除く約8ヶ月間の成果をポスターにまとめて発表しました。学生は、各自が作成したポスターを掲示し、ポスターの前に立って、多数の職員及び学生に対して研究成果を発表し討論しました。例年通り活発な討論が繰り広げられ、会場は熱気に包まれておりました。来場した教員、大学院生、学部生(3年次生を含む)による投票が行われ、創薬科学科生では卒業論文最優秀発表賞に1名、卒業論文優秀発表賞に5名が、薬学科生では優秀ポスター発表賞に6名が選ばれ、賞状と副賞が贈られました。

学生後援会では、課外教育支援の一環として、これらの賞に対する賞状と副賞(薬学科生は賞状のみ)を提供するとともに、会場では来場者向けの清涼飲料および菓子類の提供を行いました。

5-1-5. 課外活動に対する補助金

2019年度の課外活動に対する補助金を以下のように決定し支給しました。(詳細は略)

5-1-6. 奨学資金援助

2019年度の希望はありませんでした。これまでに貸与した方は22名です。

5-1. 2019 年度事業報告(続き)

5-1-7. 広報

薬学部学生後援会のホームページで情報を公開しております。ホームページは逐次アップデートし、内容の充実を図っております。2019 年度総会および保護者懇談会の報告を掲載するとともに、「学生の課外活動に関する援助」および「学生に対する奨学資金援助」の案内等も掲載しております。ご覧いただければ幸いです。

学生後援会ホームページ：<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

5-1-8. 保護者懇談会

大学(杉谷キャンパス)祭開催期間に合わせ、2019 年 10 月 26 日(土)の午後 2 時より保護者懇談会を附属病院 2 階臨床講義室 I にて開催しました。83 名の保護者の皆さまにご参加頂きました。薬学部の現状について」と題し、松谷副薬学部長よりスライドを用いた説明がありました。具体的には、くすりの富山と県医薬品振興、富山大学薬学部とそれ以降のコースの紹介、各学科のアドミッションポリシーとカリキュラムの特色、学部生の卒後進路、大学院修了後の進路、新入生の出身地、国家試験合格率と受験対策、ミッションの再定義(和漢薬教育等)、「和漢薬コース」の新設、学生の就職活動支援(コミュニケーション、接遇力)、学生支援センター(学生相談室)の活動に関する紹介がありました。また、薬学部による学生支援体制として、薬学概論(薬学部なんでも Q&A)、クラス担任連絡会等の新たな取り組みについて説明がありました。その後、学生後援会担当教員から、国家試験対策、TOEIC 対策、課外活動援助などの中間報告が順次行われました。皆様から予め寄せられた質問などにもお答えいたしました。最後に、希望する保護者の方に対し学内見学会も実施いたしました。

5-1-9. 入会状況

2019 年度の新規加入者は 115 名(新入生薬学科 53 名、新入生創薬科学科 48 名、在學生薬学科 7 名、在學生創薬科学科 6 名、既卒者 1 名)でした(2018.12.1~2019.11.30)。その後、2020 年度入学予定者 81 名(新入生薬学科 43 名、新入生創薬科学科 38 名)の入会を受け付けました(2019.3.30 現在)。未入会の方には、研究室配属や保護者懇談会・総会案内状送付などの機会に本会の趣旨をお伝えしつつ入会して頂くようお願いしております。

5-2. 2019 年度会計報告

2019 年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算について、次の通りご報告致します。
(自 2019 年 3 月 1 日 ~ 2020 年 2 月 29 日)

収支決算報告書

表 1-1. 学生後援会本会計収支報告

<略>

表 1-2. 学生後援会課外教育振替口座収支報告

<略>

表 2-1. 緊急対策会計収支報告(財源の部)

<略>

表 2-2. 緊急対策会計収支報告(積立の部)

<略>

表 3. 奨学資金会計収支報告

<略>

収支監査報告

<略>

5-3. 新役員の選出

2020 年度役員として選出された学内外の新理事が承認された。

理事(正会員)

会 長：青島 圭子 (薬学科) 副会長：安カ川 武憲 (創薬科学科)

ほか、監事 1 名、理事 19 名

理事(教職員会員)

副会長： 酒井 秀紀 (薬学部長)
庶 務： 清水 貴浩 (薬物生理学)
入会・人事： 杉本 健士 (薬品製造学)
課外教育国家試験： 横山 悟 (がん細胞生物学)
TOEIC 講習： 南部 寿則 (分子合成化学)
TOEIC 講習補佐： 名執 基樹 (独語)
課外活動・奨学資金： 宗 孝紀 (分子細胞機能学)
会 計： 久保 義行 (薬剤学)
広 報： 千葉 順哉 (薬化学)

監事

監事(教職員会員)： 千葉 順哉 (薬化学)

(下線は新任)

5-4. 2020 年度事業予定

5-4-1. 課外教育援助①（国家試験対策支援, 薬学科 6 年生対象）

2020 年度は、新カリキュラム導入後の第 10 期生が最終学年となり、来春に薬剤師国家試験を受験することとなります。学生の国家試験対策サポートとして、薬学科 6 年生を対象に以下の内容を予定しております。

2020 年	5 月頃	国家試験についてのガイダンス
	5 月末頃	スタートアップ模試(薬学ゼミナール)
	7 月末頃	ステップアップ模試(薬学ゼミナール)
	9 月頃	全国統一模擬試験Ⅰ(薬学ゼミナール)
	11 月頃	予備校講師によるガイダンス
	11~12 月頃	予備校講師による講習会
2021 年	12 月中旬頃	全国統一模擬試験Ⅱ(薬学ゼミナール)
	1 月上旬頃	模擬試験(薬学ゼミナール以外)
	1 月中旬頃	予備校講師による講習会
	1 月下旬頃	全国統一模擬試験Ⅲ(薬学ゼミナール)
	2 月下旬	第 106 回薬剤師国家試験

2019年度の第105回国家試験は、科目により差はありますが、全体としての難易度は高くなっています。第106回国家試験から適応となる「新出題基準」や「改訂コアカリ」、「実務実習ガイドライン」を意識した科目の壁を超えた連問等「総合的な力」や「考える力」を必要とする問題は継続して出題されてきました。また、実務実習で体験する「代表的な8疾患」についての問題は105回国家試験でも多く出題されてきました。それらの疾患だけでなく、臨床現場での対応能力が備わっているかを問う問題が多く出題されてきました。病院での薬剤師業務の役割に関する問題も多かったですが、「地域包括ケアシステム」の中での健康サポート薬局の役割やかかりつけ薬局が果たさなければならない役割、「ポリファーマシー」、「重複投与」、「残薬」をふまえた処方提案等、薬剤師の職能を発揮するための知識や判断力が求められています。

難易度は年々高くなっていることから、学生には早期から地力を付けて試験に臨むよう勧めていきます。また5年生時に行われる長期実務実習で得られる知識の重要性についても周知し、国家試験につながることを意識して臨むよう指導する予定です。

2020年度国家試験対策は、過去3年間の対策を踏襲し、より充実した対策が行えるよう努めてまいります。また、試験情報も随時受験生へ伝えていく予定です。

5-4. 2020年度事業予定(案)審議(続き)

5-4-2. 課外教育援助② (TOEIC 支援)

2020年度は、以下の形でTOEIC講習会・TOEIC-IPテストの企画・支援を行う。

活動予定 (2019年度を踏襲)

1) TOEIC講習会(2020年11月上旬頃)

- ・外部講師(2講師, イーオン社)にTOEIC対策講義を依頼し、入門&スコアアップコースの2クラス制で実施する。
- ・創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援する。1クラス分の講師代と添削費は、学部長裁量経費から支出する。
- ・2018年度より、学部2年生も受講(支援)対象としている。
- ・TOEIC活動周知を改善して、参加者増を目指す。

2) TOEIC-IPテスト(2021年1月実施予定:大学生協主催)

- ・学生後援会から、創薬科学科学生の受検費(1回のみ)を支援する。
- ・TOEIC活動周知を改善して、受検者増を目指す。

3) TOEIC対策についての周知、およびアンケート

- ・TOEIC活動周知を改善して、参加者増を目指す。
- ・年度始めのガイダンスにて、周知およびアンケートを実施する。

今後の課題

- ・創薬科学科2年次生の参加者数が少なかった(講習会は2名参加、IPテストは2名参加)。早期に学習を開始することや、IPテストを受検して自分の現状を知ることの重要性を伝える必要がある。
- ・大学院入試の出願時に、外部英語試験(TOEIC等)のスコア(過去2年以内)の提出が義務づけられている。TOEIC等の検定を事前に受検しておく必要があり、そのことも周知する必要がある。(TOEIC730点を、入試では満点と換算する)
- ・薬学科の学生も、製薬企業等への就職の際にTOEICの受検が役に立つ場合があり、ガイダンス等で周知する必要がある。
- ・アンケートを工夫して、TOEIC支援の改善につなげる。

5-4. 2020 年度事業予定(案)審議(続き)

5-4-3. 課外活動援助

例年通り、各課外活動団体からの申請があれば、薬学部学生の所属数に基づき、既定の範囲内で援助を行う。

5-4-4. 奨学資金援助

新たな貸与希望者がいる場合には、返還計画の遵守を徹底した上で奨学援助金の貸与を行う。

5-4-5. 広報活動

薬学部ホームページを用いて、後援会活動の報告等を活発に行う。

富山大学薬学部学生後援会ホームページ <http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/index-j.html>

5-4-6. 保護者懇談会の開催

2020 年 10 月 24 日(土)(杉谷(医薬系)キャンパス祭開催時)に開催予定。多数の保護者の方の参加をお待ちしております。

以上、2020 年度事業計画が原案のとおり承認された。

5-5. 2020 年度予算(案)審議

2020 年度予算案が原案のとおり承認された。

表 4-1. 学生後援会本会計予算(案)

<略>

表 4-2. 学生後援会課外教育振替口座会計予算(案)

<略>

表 5. 緊急対策会計予算(積立の部)(案)

<略>

表 6. 奨学資金会計予算(案)

<略>

6. その他

6-1. 学部生、大学院生の研究活動

学会での受賞等 (薬学部同窓会誌「遠久朶」第 97 号(2019.2)より抜粋、学年は 2019 年度)

- 卒業論文最優秀発表賞(平成 30 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会) 2019 年2月
大塚 陸海(創薬科学科4年; 応用薬理学研究室)
マウス海馬スライスにおける長期増強に対するアミロイドβタンパク質変異体の作用の検討
- 学生優秀発表賞(口頭発表の部)(日本薬学会第 139 年会) 2019 年3月
大貫 悠太(博士前期課程2年; 分子合成化学研究室)
求核部位と脱離基を併せもつスルホニウムイリドを用いるスピロシクロプロパンの開裂—環化反応
- 学生優秀発表賞(日本薬学会第 139 年会) 2019 年3月
藤原 裕平(薬学科5年; 生体界面化学研究室)
ベシクル可溶化による脂質二重層中でのリン脂質-リン脂質分子間相互作用に伴う熱力学量の測定
- 最優秀発表賞(第 28 回神経行動薬理若手研究者の集い) 2019 年3月
菊川 孝(博士前期課程2年; 応用薬理学研究室)
マウスにおける帯状疱疹関連痛への methylcobalamin の有効性とその作用機序の解明
- 学生優秀発表賞(第 92 回日本薬理学会年会) 2019 年3月
菊川 孝(博士前期課程2年; 応用薬理学研究室)
The inhibitory actions of methylcobalamin on mechanical allodynia in herpes murine model
- 優秀演題賞(第 36 回日本 TDM 学会・学術大会) 2019 年5月
尾上 知佳(博士後期課程2年; 医療薬学研究室)
ディープラーニングを応用した個別化投与設計法の開発
- 学生賞(日本膜学会第 41 年会) 2019 年5月
穴田 千晴(博士前期課程1年; 生体界面化学研究室)
リン脂質-ペプチドナノディスク構造の温度・組成依存性に基づく集合体形成原理の理解
- 日本薬剤学会永井財団大学院学生スカラシップ(日本薬剤学会 第 34 年会) 2019 年5月
定村 龍太(博士後期課程1年; 薬剤学研究室)
血液脳関門を介した抗てんかん薬 phenytoin 排出輸送解析
- 学生トラベルアワード(日本生化学会北陸支部第 37 回大会) 2019 年6月
山田 あかね(博士前期課程1年; がん細胞生物学研究室)
Guggulsterone 誘導体による NF-κB 活性化抑制機構の解析
- 優秀賞(第 21 回日本RNA学会年会) 2019 年7月
伊藤 志帆(博士前期課程2年; 遺伝情報制御学研究室)
リン酸化CTD結合因子PCIF1による遺伝子発現調節
- 若手道場 優秀発表賞(NEURO2019; 第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学会大会合同学会) 2019 年7月
谷江 良崇(博士後期課程3年; 神経機能学分野)
Neuroleukin enhances neuroleukin secretion from astrocytes and promotes axonal growth
- ポスター優秀発表賞(日本薬学会薬理系薬学部会 生体機能と創薬シンポジウム 2019) 2019 年8月
佐藤 清史(博士前期課程1年; 病態制御薬理学研究室)
オレキシン受容体拮抗薬レンボレキサントが肥満マウスの糖代謝異常に及ぼす影響の解析
- 優秀発表賞(第 36 回和漢医薬学会学術大会) 2019 年8月
関戸 景子(博士前期課程1年; 病態生化学研究室)
十全大補湯の免疫チェックポイント阻害剤との併用効果の解析
- 小川 雄大(博士前期課程1年; 消化管生理学分野)
腸管マクロファージでの IL-10 産生亢進作用を有するベルベリンの新規炎症性腸疾患治療薬としての可能性
- 学生奨励賞(第 37 回日本植物細胞分子生物学会) 2019 年9月
飯島 未宇(博士後期課程4年; 薬用生物資源学研究室)
エゾムラサキツツジが生産する抗 HIV 天然物ダウリクロメン酸の生合成研究

- 若手優秀発表賞(第92回日本生化学会大会) 2019年9月
北井 克樹(博士前期課程2年;分子細胞機能学研究室)
 ABCトランスポーター ABCD4によるリソソームから細胞質へのビタミン B12 輸送機構の解析
依田 大輝(博士前期課程2年;分子細胞機能学研究室)
 副腎白質ジストロフィーの発病メカニズム解明:abcd1 欠損ミクログリアにおける自然免疫応答の亢進
- Global Education Seminar Presentation Award 2019(APSTJ Global Education Seminar 2019-2nd) 2019年9月
定村 龍太(博士後期課程1年;薬剤学研究室)
 Monocarboxylate transporter 12: one of the contributors to efflux transport of guanidinoacetate in the rat renal proximal tubular epithelial cells
- 第49回日本神経精神薬理学会 一般演題奨励賞 2019年10月
所 一輝(博士前期課程1年;薬物治療学研究室)
 マウス前頭前皮質における Teneurin-4 の発現減少によるうつ行動への関与
楠井 優香(博士前期課程2年;薬物治療学研究室)
 アルツハイマー病患者の脳内で発現が減少するアミノ酸 N-acetyl-aspartate(NAA)がマウス由来アストロサイトにおいてニコチン性アセチルコリン受容体 $\alpha 7$ サブユニット発現に与える影響
- 最優秀ポスター賞(製剤機械技術学会 第29回大会) 2019年10月
高橋 拓巳(博士前期課程1年;製剤設計学講座)
 機械学習による圧力伝達率と原薬物性の関連性評価
- Excellent Presentation Award for AsCNP2019 (Category: Student/Graduate Student) 2019年10月
宮西 肇(博士前期課程2年;薬物治療学研究室)
 Decrease in striatal Shati/Nat8l induces resilience of depression via regulation of acetylation of histone in the Bdnf gene
- 学生優秀発表賞・大学院課程部門(日本薬学会北陸支部第131回例会) 2019年11月
松田 大樹(博士前期課程2年;病態制御薬理学研究室)
 2型糖尿病防止に関わる中枢性代謝調節機構における嗅覚系の役割の解析
佐藤 清史(博士前期課程1年;病態制御薬理学研究室)
 2型糖尿病マウスにおける不眠症治療薬レンボレキサントの糖代謝改善効果
山本 雄大(博士前期課程1年;薬剤学研究室)
 In vivo 薬物輸送特性の評価を目的としたラット血液網膜関門スフェロイドモデルの確立
北井 克樹(博士前期課程2年;分子細胞機能学研究室)
 リソソーム膜 ABCトランスポーターABCD4によるビタミン B12 輸送機構の解析
天野 良哉(博士前期課程2年;分子合成化学研究室)
 Rh(II)触媒を用いるフェニルジアゾアセタートの化学および立体選択的メチル C-H 挿入反応の開発
飯田 日向子(博士前期課程2年;構造生物化学研究室)
 TNF 受容体の細胞内領域に含まれる TRAF 結合ペプチドモチーフの精密化を目指した研究
- 学生優秀発表賞・学士課程部門(日本薬学会北陸支部第131回例会) 2019年11月
築川 樹(薬学科6年;薬物治療学研究室)
 覚醒剤メタンフェタミンによる細胞死に対する膜貫通蛋白質 TMEM168 の関与
佐藤 弘樹(薬学科6年;がん細胞生物化学研究室)
 悪性黒色腫における SOX10 を介した PD-L1 の発現制御機構
篠崎 友希(薬学科6年;生体認識化学研究室)
 アジド導入ペプチドを用いた新規クリック反応の開発
- 学生賞(膜シンポジウム 2019) 2019年11月
吉田 右京(博士前期課程2年;生体界面化学研究室)
 Sfh1 脂質輸送におけるリン脂質依存性
- 富山大学学長賞 第3回「未知に挑む女性研究者賞」【女子学生部門】 2019年11月
Sijia Sun(博士後期課程2年;天然薬物開発分野)
 各地の生薬から栄養飢餓に対する耐性を解除する天然抗がん化合物の探索

6-2. 学生の保証人(親権者等)への成績通知について(医薬系学務課より)

富山大学薬学部では学部学生の修学状況について、学部と保証人との情報共有の観点より、2014年度入学生から2年次以降の毎年5月に学生の保証人(親権者等)へ成績通知書を送付しています。ただし、留年が確定した学生については、3月中に成績を送付します。成績を受け取った後、今後の修学等について不安やご相談ごとがございましたら、医薬系学務課までご連絡ください。専門の相談員や担当教員と連携しご相談に応じます。

2013年度以前の入学生の保証人の方で成績通知書の送付をご希望の方は、別途お申し込み願います。お申し込みに関しましては、毎年9月に学生後援会からお送りする「保護者懇談会のご案内」に、出欠回答を兼ねた成績通知書送付申し込み用紙が同封されておりますので、そちらをご利用下さい。